PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2001-302666

(43) Date of publication of application: 31.10.2001

(51)Int.CI.

C07D487/04

A01N 43/90

(21)Application number: 2000-286572

(71)Applicant: NISSAN CHEM IND LTD

(22) Date of filing:

21.09.2000

(72)Inventor: MIZUKOSHI TAKASHI

ADACHI TOMOAKI MAEDA KANESHIGE AKIYAMA SHIGEAKI WATANABE SHIGEOMI NAKAHIRA KUNIMITSU

OKI TORU

HAMADA NOBUYUKI

(30) Priority

Priority number : **11266544**

Priority date : 21.09.1999

Priority country: JP

2000036792

15.02.2000

JP

(54) AZOLE-CONDENSED HETEROCYCLIC ANILIDE COMPOUND AND HERBICIDE (57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an azole-condensed heterocyclic anilide compound and an agrochemical and herbicide containing the compound as an active component based on the new finding that the compound of the present invention having anilide group bonded to a specific site of an azole-condensed heterocyclic group has herbicidal action.

SOLUTION: The objective compound is expressed by formula (I) [Z1-Z2-Z3-Z 4-Z5-Z1 is a bond style such as C-N=C(R4)-C(R5)=C, C-N-N=C(R4)-N=C and C-N-N=N-C(R5)=C; R1 is H, a 1-6C alkyl, a 3-6C cycloalkyl or the like; R2 is H or a 1-6C alkyl; R3 is H, a halogen, nitro, cyano or the like; R4 and R5 are each independently H, a 1-6C alkyl (the alkyl groups of R4 and R5 may together form a 4-7C ring structure), a 3-6C cycloalkyl or the like; X is CO2R10 (R10 is H, a 1-6C alkyl or the like).

LEGAL STATUS

BEST AVAILABLE COPY

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開2001-302666 (P2001-302666A)

最終頁に続く

(43)公開日 平成13年10月31日(2001.10.31)

(51) Int.Cl.7	饑別記号	FI	テーマコード(参考)
C 0 7 D 487/04	1 4 2	C 0 7 D 487/04	142 4C050
	140		140 4H011
	146		146
A 0 1 N 43/90	104	A 0 1 N 43/90	104
		審査請求未請求	請求項の数5 OL (全29頁)
(21)出願番号	特願2000-286572(P2000-286572)	(71)出顧人 0000039 日産化学	
(22)出顧日	平成12年9月21日(2000.9.21)	東京都司	F代田区神田錦町3丁目7番地1
		(72)発明者 水越 隆	
(31)優先権主張番号	特願平11-266544	1	A橋市坪井町722番地1日産化学工
(32)優先日	平成11年9月21日(1999.9.21)	業株式会	社中央研究所内
(33)優先権主張国	日本 (JP)	(72)発明者 安達 化	論明
(31)優先権主張番号	特願2000-36792(P2000-36792)	千葉県	A橋市坪井町722番地 1 日産化学工
(32)優先日	平成12年2月15日(2000.2.15)	業株式会	会社中央研究所内
(33)優先権主張国	日本 (JP)	(72)発明者 前田 兼	使成
		千葉県船	A橋市坪井町722番地1日産化学工
		業株式会	社中央研究所内

(54) 【発明の名称】 アゾール縮合ヘテロ環アニライド化合物及び除草剤

(57)【要約】

【課題】新規除草剤の提供。

【解決手段】式(1):

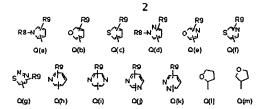
【化1】

「式中、Z1-Z2-Z3-Z4-Z5-Z1はC-N-N=C(R4)-C(R5)=C、C-N-N=C(R4)-C、C-N-N=C(R5)=C等の結合様式を表わし、R1は水素原子、C1~C。アルキル基、C1~C。アルキル基等を表わし、R2は水素原子またはC1~C。アルキル基を表わし、R3は水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、シアノ基等を表わし、R4およびR5は、互いに同一でも相異なっていてもよく、水素原子、C1~C。アルキル基(これらはR4とR5が一緒になってC4~C、の環状構造を形成していてもよい。)、C1~C。シクロアルキル基等を表わし、XはC0、R10基(R10は水素原子、C1~C。アルキル基等を表わす。)等を表わす。〕で示される化合物。

【特許請求の範囲】 【請求項1】式(1) 【化1】

【化2】

[式中、Z1-Z2-Z3-Z4-Z5-Z1はC-N -N = C (R4) - C (R5) = C, C - N - N = C(R4) - N = C, C - N - N = N - C (R5) = C,C-N-N=N-N=CまたはN-C=C(R15)- 10 C₁~C₆アルキル基、C₁~C₆ハロアルキル基、C₁~ C(R4) = C(R5) - Nの結合様式を表わし、 R1は水素原子、C1~C2アルキル基、C1~C2シクロ アルキル基、C1~C6ハロアルキル基、C2~C6アルケ ニル基、C,~C。ハロアルケニル基、C,~C。アルキニ ル基、C2~C6ハロアルキニル基、Aで置換されていて もよいフェニル基(Aはハロゲン原子、ニトロ基、シア ノ基、C1~C6アルキル基、C1~C6ハロアルキル基、 C₁~C₆アルコキシ基、C₁~C₆ハロアルコキシ基、C 1~C。アルコキシカルボニル基、C1~C。アルキルチオ 基及びC₁~C₆アルキルスルホニル基から選ばれる同一 または相異なった1以上の置換基を表わす。)、Aで置 換されていてもよいフェニルC、~C、アルキル基、ハロ ゲン原子、シアノ基、C₁~C₆アルコキシ基、C₁~C₆ ハロアルコキシ基、C,~C,シクロアルコキシ基、C, ~C。アルキルチオ基、Aで置換されていても良いフェ ニルC₁~C₄アルキルチオ基、C₁~C₆アルキルスルホ ニル基、C,~C,アルコキシC,~C,アルキル基、C, ~C。アルキルチオC、~C、アルキル基、C、~C。アル キルスルホニルC,~C,アルキル基、C,~C,アルコキ シC₁~C₄アルコキシ基、C₁~C₆アルキルチオC₁~ C, アルコキシ基、C, $\sim C$, アルコキシC, $\sim C$, アルキ ルチオ基、C₁~C₆アルキルチオC₁~C₄アルキルチオ 基、C₁~C₆アルコキシカルボニル基、N(R6)R7 基(R6及びR7は同一でも相異なっていてもよく、水 素原子またはC,~C。アルキル基(これらはR6及びR 7が一緒になり、窒素原子を含むC2~C。の環を形成し ていても良い。)を表わす。)、C,~C,ジアルキルア ミノC₁~C₄アルキル基、ヒドロキシ基、ホルミル基、 カルボキシル基、C₁~C₄ジアルキルカルバモイル基、 C₁~C₆アルキルカルボニル基、ヒドロキシイミノC₁ $\sim C_1$ アルキル基、 $C_1 \sim C_2$ アルコキシイミノ $C_1 \sim C_2$ アルキル基またはQ基(Qは以下に示すQ(a)、Q (b), Q(c), Q(d), Q(e), Q(f), Q (g), Q(h), Q(j), Q(k) Q (1) およびQ(m)



から選ばれる基を表わす。)を表わし、 R2は水素原子またはC1~C。アルキル基を表わし、 R3は水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、シアノ基、 C。アルコキシ基、C1~C。ハロアルコキシ基、C1~C 。アルコキシカルボニル基、C,~C。アルキルチオ基お よびC、~C。アルキルスルホニル基から選ばれる同一ま たは相異なった1以上の置換基を表わし、

R4およびR5は、互いに同一でも相異なっていてもよ く、水素原子、C1~C6アルキル基(これらはR4とR 5が一緒になってC、~C、の環状構造を形成していても よい。)、C,~C,シクロアルキル基、C,~C,ハロア ルキル基、C、~C。アルケニル基、C、~C。ハロアルケ ニル基、C、~C。アルキニル基、C、~C。ハロアルキニ ル基、Aで置換されていてもよいフェニル基(Aは前記 のものを表わす。)、Aで置換されていてもよいフェニ ルC1~C1アルキル基、ハロゲン原子、シアノ基、ニト ロ基、C1~C,アルコキシ基、C1~C,ハロアルコキシ 基、C,~C,シクロアルコキシ基、C,~C,アルキルチ オ基、Aで置換されていても良いフェニルC,~C,アル キルチオ基、C,~C。アルキルスルホニル基、C,~C。 ジアルキルスルファモイル基、C,~C。アルコキシC, ~C,アルキル基、C,~C,アルキルチオC,~C,アル 30 キル基、C,~C,アルキルスルホニルC,~C,アルキル 基、C,~C,アルコキシC,~C,アルコキシ基、C,~ C,アルキルチオC,~C,アルコキシ基、C,~C,アル コキシC、~C、アルキルチオ基、C、~C。アルキルチオ C₁~C₄アルキルチオ基、C₁~C₆アルコキシカルボニ ル基、C、~C。ジアルキルカルバモイル基、N(R6) R7基(R6及びR7はそれぞれ前記のものを表わ す。)、C,~C,ジアルキルアミノC,~C,アルキル 基、ヒドロキシ基、ホルミル基、カルボキシル基、C1 ~C。アルキルカルボニル基、ヒドロキシイミノC,~C 40 ,アルキル基またはC,~C,アルコキシイミノC,~C, アルキル基を表わし、

R8は水素原子、C1~C1アルキル基またはAで置換さ れていてもよいフェニル基(Aは前記と同様の意味を表 わす。)を表わし、

R9は水素原子、C,~C。アルキル基、C,~C。シクロ アルキル基、C,~C。ハロアルキル基、C,~C。アルコ キシ基、C₁~C₅ハロアルコキシ基、C₁~C₆アルキル チオ基、C₁~C₆アルキルスルホニル基、ハロゲン原 子、ニトロ基およびシアノ基から選ばれる同一または相 50 異なった1以上の置換基を表わし、

3

XはCO,R10基(R10は水素原子、C,~C,アル キル基、C,~C。ハロアルキル基、C,~C。シクロアル キル基、C、~C。アルケニル基、C、~C。ハロアルケニ ル基、C2~C6アルキニル基、C2~C6ハロアルキニル 基、Aで置換されていてもよいフェニル基、Aで置換さ れていてもよいフェニルC,~C,アルキル基またはC, ~C。アルコキシカルボニルC,~C。アルキル基を表わ す。)、CON(R11)R12基(R11およびR1 2は同一でも相異なっていてもよく、水素原子、C.~ C,アルキル基(これらは、R11とR12が一緒にな り、Nを含むC、~C。の環を形成していてもよい。)、 C₁~C₆ハロアルキル基、C₁~C₆シクロアルキル基、 C₂~C₆アルケニル基、C₂~C₆ハロアルケニル基、C 、~C。アルキニル基、C、~C。ハロアルキニル基、Aで 置換されていてもよいフェニル基またはAで置換されて いてもよいフェニルC、~C、アルキル基を表わす。)、 CON (R13) N (R11) R12基 (R13は水素 原子、C、~C。アルキル基またはC、~C。アルケニル基 を表わし、R11およびR12はそれぞれ前記と同様の 意味を表わす。) またはCON(R13)OR14基 (R14は水素原子、C₁~C。アルキル基、C₂~C。ア ルケニル基、C₁~C₆アルキニル基、C₁~C₆ハロアル キル基、C2~C6ハロアルケニル基、C2~C6ハロアル キニル基またはC,~C。シクロアルキル基を表わし、R 13は前記のものを表わす。)を表わし、R15は水素 原子またはC、~C。アルキル基を表わす。〕で示される 化合物。

【請求項2】Z1-Z2-Z3-Z4-Z5-Z1がC-N-N=C(R4)-C(R5)の結合様式を表わし、

R 1 が水素原子、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基、Aで置換されていてもよいフェニル基(Aは前記のものを表わす。)、 Λ ロゲン原子、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシE、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシC、 C_6 アルキル基、 C_6 (R 6) R 7基(R 6 およびR 7 はそれぞれ前記のものを表わす)またはQ基(Qは前記のものを表わす。)を表わし、

R2が水素原子を表わし、

R3は水素原子、C1~C1アルキル基、ハロゲン原子およびシアノ基から選ばれる同一または相異なっていても 40よい1以上の置換基を表わし、

R4およびR5は、互いに同一でも相異なっていてもよく、水素原子、 $C_1 \sim C_6$ アルキル基(これらはR4とR5が一緒になって $C_4 \sim C_7$ の環状構造を形成していてもよい。)、 $C_1 \sim C_6$ アルコナル基、ハロゲン原子、シアノ基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルチオ基、 $C_1 \sim C_6$ アルキルスルホニル基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシC1 $\sim C_4$ アルキル基またはN(R6)R7基(R6及びR7はそれぞれ前記のものを表わす。)を表わし、R8が $C_1 \sim C_6$ アルキル基を表わし、

R9が水素原子、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基またはハロゲン原子を表わし、

R 1 0 が C_1 \sim C_6 アルキル基を表わす、請求項 1 記載の 化合物。

【請求項3】Z1-Z2-Z3-Z4-Z5-Z1がN-C=C(R15)-C(R4)=C(R5)-Nの結合様式を表わし、

R1が水素原子またはC₁~C₆アルキル基を表わし、R2が水素原子を表わし、

10 R3は水素原子、C1~C1アルキル基、ハロゲン原子およびシアノ基から選ばれる同一または相異なっていてもよい1以上の置換基を表わし、

R 4 およびR 5 は、互いに同一でも相異なっていてもよく、水素原子、C₁~C₆アルキル基(これらはR 4 と R 5 が一緒になってC₄~C₇の環状構造を形成していてもよい。)、C₁~C₆ハロアルキル基、ハロゲン原子、シアノ基、C₁~C₆アルコキシ基、C₁~C₆アルキルチオ基、C₁~C₆アルキルスルホニル基、C₁~C₆アルコキシC₁~C₄アルキル基またはN(R 6)R 7 基(R 6 及 び R 7 はそれぞれ前記のものを表わす。)を表わし、

R8がC₁~C。アルキル基を表わし、

R9が水素原子、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ基またはハロゲン原子を表わし、

R10がC1~C6アルキル基を表わし、

R 1 5 が水素原子または $C_1 \sim C_6$ アルキル基を表わす、 請求項1 記載の化合物。

【請求項4】請求項1記載の化合物を含有することを特 徴とする農薬。

【請求項5】請求項1記載の化合物を含有することを特30 徴とする除草剤。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、アゾール縮合へテロ環アニライド化合物およびそれを有効成分として含有する農薬、除草剤に関するものである。

[0002]

【従来の技術及び課題】アゾール縮合へテロ環の特定の 位置にアニライド基が結合した本願発明の化合物群が除 草作用を示すことは従来知られていない。

40 [0003]

【課題を解決するための手段】本発明者らは、新規なアニライド化合物の除草作用について鋭意検討した結果、下記式で示される化合物群が優れた除草作用を有することを見いだし、本発明を完成させるに至った。すなわち、本発明は式(I)

[0004]

【化3】

$$Z_{Z_{5}}^{Z_{1}} \xrightarrow{Z_{1}} N \times X^{R_{2}} X^{R_{3}}$$
 (1)

【0005】〔式中、Z1-Z2-Z3-Z4-Z5-Z1dC-N-N=C(R4)-C(R5)=C,C-N-N=C (R4) - N=C, C-N-N=N-C (R5) = C, $C - N - N = N - N = C \pm \lambda t + C = C$ (R15)-C(R4)=C(R5)-Nの結合様式を 表わし、R1は水素原子、C,~C,アルキル基、C,~ C_{\bullet} シクロアルキル基、 $C_{1} \sim C_{\bullet}$ ハロアルキル基、 $C_{2} \sim$ C。アルケニル基、C、~C。ハロアルケニル基、C、~C 。アルキニル基、C2~C。ハロアルキニル基、Aで置換 されていてもよいフェニル基(Aはハロゲン原子、ニト ロ基、シアノ基、C,~C。アルキル基、C,~C。ハロア ルキル基、C1~C6アルコキシ基、C1~C6ハロアルコ キシ基、C₁~C₆アルコキシカルボニル基、C₁~C₆ア ルキルチオ基及びC、~C。アルキルスルホニル基から選 ばれる同一または相異なった1以上の置換基を表わ す。)、Aで置換されていてもよいフェニルC,~C,ア ルキル基、ハロゲン原子、シアノ基、C,~C。アルコキ シ基、C,~C。ハロアルコキシ基、C,~C。シクロアル コキシ基、C,~C。アルキルチオ基、Aで置換されてい ても良いフェニルC₁~C₄アルキルチオ基、C₁~C₆ア ルキルスルホニル基、C,~C,アルコキシC,~C,アル キル基、C₁~C₆アルキルチオC₁~C₄アルキル基、C 1~C₆アルキルスルホニルC₁~C₄アルキル基、C₁~ C₆アルコキシC₁~C₄アルコキシ基、C₁~C₆アルキ ルチオC₁~C₄アルコキシ基、C₁~C₆アルコキシC₁ ~C,アルキルチオ基、C,~C,アルキルチオC,~C, アルキルチオ基、C,~C。アルコキシカルボニル基、N (R6) R7基(R6及びR7は同一でも相異なってい てもよく、水素原子またはC₁~C₆アルキル基(これら はR6及びR7が一緒になり、窒素原子を含むC2~C。 の環を形成していても良い。)を表わす。)、C₁~C. ジアルキルアミノC,~C,アルキル基、ヒドロキシ基、 ホルミル基、カルボキシル基、C,~C,ジアルキルカル バモイル基、C1~C6アルキルカルボニル基、ヒドロキ シイミノC₁~C₄アルキル基、C₁~C₆アルコキシイミ ノC1~C1アルキル基またはQ基(Qは以下に示すQ (a), Q(b), Q(c), Q(d), Q(e), Q (f), Q(g), Q(h), Q(i), Q(j), Q (k)Q(1)およびQ(m) [0006] [化4]

【0007】から選ばれる基を表わす。)を表わし、R 2は水素原子またはC₁~C₆アルキル基を表わし、R3 は水素原子、ハロゲン原子、ニトロ基、シアノ基、C、

 $\sim C_{\bullet}$ アルキル基、 $C_{\bullet} \sim C_{\bullet}$ ハロアルキル基、 $C_{\bullet} \sim C_{\bullet}$ アルコキシ基、C1~C6ハロアルコキシ基、C1~C6ア ルコキシカルボニル基、C1~C6アルキルチオ基および C₁~C₅アルキルスルホニル基から選ばれる同一または 相異なった1以上の置換基を表わし、R4およびR5 は、互いに同一でも相異なっていてもよく、水素原子、 C₁~C₂アルキル基(これらはR4とR5が一緒になっ てC₄~C₇の環状構造を形成していてもよい。)、C₇ ~C。シクロアルキル基、C1~C。ハロアルキル基、C1 $\sim C_s$ アルケニル基、 $C_s \sim C_s$ ハロアルケニル基、 $C_s \sim$ C。アルキニル基、C2~C6ハロアルキニル基、Aで置 換されていてもよいフェニル基(Aは前記のものを表わ す。)、Aで置換されていてもよいフェニルC,~C,ア ルキル基、ハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、C1~ C₆アルコキシ基、C₁~C₆ハロアルコキシ基、C₁~C 。シクロアルコキシ基、C、~C、アルキルチオ基、Aで 置換されていても良いフェニルC,~C,アルキルチオ 基、C₁~C₆アルキルスルホニル基、C₁~C₆ジアルキ ルスルファモイル基、C₁~C₆アルコキシC₁~C₄アル キル基、C、~C。アルキルチオC、~C。アルキル基、C ₁~C₅アルキルスルホニルC₁~C₄アルキル基、C₁~ C。アルコキシC、~C、アルコキシ基、C、~C。アルキ ルチオ $C_1 \sim C_1$ アルコキシ基、 $C_1 \sim C_6$ アルコキシ C_1 ~C,アルキルチオ基、C,~C,アルキルチオC,~C, アルキルチオ基、C₁~C₆アルコキシカルボニル基、C 1~C。ジアルキルカルバモイル基、N(R6)R7基 (R6及びR7はそれぞれ前記のものを表わす。)、C 1~C,ジアルキルアミノC,~C,アルキル基、ヒドロキ シ基、ホルミル基、カルボキシル基、C1~C6アルキル カルボニル基、ヒドロキシイミノC1~C.アルキル基ま たはC₁~C₆アルコキシイミノC₁~C₄アルキル基を表 わし、R8は水素原子、C1~C6アルキル基またはAで 置換されていてもよいフェニル基(Aは前記と同様の意 味を表わす。)を表わし、R9は水素原子、C1~C6ア ルキル基、C,~C,シクロアルキル基、C,~C,ハロア ルキル基、C1~C。アルコキシ基、C1~C。ハロアルコ キシ基、C、~C。アルキルチオ基、C、~C。アルキルス ルホニル基、ハロゲン原子、ニトロ基およびシアノ基か ら選ばれる同一または相異なった1以上の置換基を表わ 40 し、XはCO,R10基(R10は水素原子、C,~C。 アルキル基、C、~C。ハロアルキル基、C、~C。シクロ アルキル基、C、~C。アルケニル基、C、~C。ハロアル ケニル基、C2~C6アルキニル基、C2~C6ハロアルキ ニル基、Aで置換されていてもよいフェニル基、Aで置 換されていてもよいフェニルC1~C4アルキル基または C₁~C₆アルコキシカルボニルC₁~C₆アルキル基を表 わす。)、CON (R11) R12基 (R11およびR 12は同一でも相異なっていてもよく、水素原子、C, ~C。アルキル基(これらは、R11とR12が一緒に

50 なり、Nを含むC、~C。の環を形成していてもよ

い。)、C,~C,ハロアルキル基、C,~C,シクロアル キル基、Cz~C。アルケニル基、Cz~C。ハロアルケニ ル基、C、~C。アルキニル基、C、~C。ハロアルキニル 基、Aで置換されていてもよいフェニル基またはAで置 換されていてもよいフェニルC、~C、アルキル基を表わ す。)、CON (R13) N (R11) R12基(R1 3は水素原子、C,~C。アルキル基またはC₂~C。アル ケニル基を表わし、R11およびR12はそれぞれ前記 と同様の意味を表わす。)またはCON(R13)OR 14基(R14は水素原子、C1~C1アルキル基、C1 ~C,アルケニル基、C,~C,アルキニル基、C,~C。 ハロアルキル基、C、~C。ハロアルケニル基、C、~C。 ハロアルキニル基またはC,~C,シクロアルキル基を表 わし、R13は前記のものを表わす。)を表わし、R1 5は水素原子またはC、~C。アルキル基を表わす。〕で 示される新規なアゾール縮合へテロ環アニライド化合物 (以下、本発明化合物と称する。)、そしてそれらを有 効成分として含有することを特徴とする農薬、特に除草 剤に関するものである。但し、以上の化合物に光学異性 体、ジアステレオマー、幾何異性体が存在する場合は、 それぞれの混合物および単離された異性体の双方を包含 する。

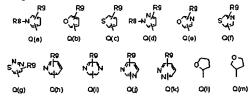
[0008]

【発明の実施の形態】本発明化合物の一般式(1)にお いて、R1としては水素原子、メチル基、エチル基、プ ロビル基、i-プロビル基、ブチル基、t-ブチル基、 ペンチル基、ヘキシル基、cープロピル基、cーペンチ ル基、c-ヘキシル基、トリクロロメチル基、トリフル オロメチル基、ジフルオロメチル基、フルオロメチル 基、クロロジフルオロメチル基、2、2、2-トリフル オロエチル基、アリル基、クロチル基、3-クロロ-2 - プロペニル基、プロバルギル基、フェニル基、ベンジ ル基、塩素原子、臭素原子、フッ素原子、ヨウ素原子、 シアノ基、メトキシ基、エトキシ基、プロポキシ基、ジ フルオロメトキシ基、クロロジフルオロメトキシ基、ト リフルオロメトキシ基、シクロプロビルオキシ基、メチ ルチオ基、エチルチオ基、メタンスルホニル基、エタン スルホニル基、メトキシメチル基、メチルチオメチル 基、メタンスルホニルメチル基、メチルチオメチルチオ 基、メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、ア 40 ミノ基、メチルアミノ基、エチルアミノ基、プロピルア ミノ基、ジメチルアミノ基、N-メチルエチルアミノ 基、ジエチルアミノ基、ピロリジノ基、ピペリジノ基、 ジメチルアミノメチル基、ジエチルアミノメチル基、ヒ ドロキシ基、ホルミル基、カルボキシル基、ジメチルカ ルバモイル基、ジエチルカルバモイル基、アセチル基、 プロピオニル基、ヒドロキシイミノメチル基、1-(ヒ ドロキシイミノ) エチル基、メトキシイミノメチル基、 1- (メトキシイミノ) エチル基、エトキシイミノメチ ル基、1-(エトキシイミノ)エチル基Q(a)、Q

(b), Q(c), Q(d), Q(e), Q(f), Q (g), Q(h), Q(i), Q(j), Q(k), Q (1) またはQ(m)

[0009]

[化5]



【0010】が挙げられ、好ましくは水素原子、メチル 基、c-プロピル基、ジフルオロメチル基、フルオロメ チル基、フェニル基、塩素原子、フッ素原子、シアノ 基、メトキシ基、ジフルオロメトキシ基、メチルチオ 基、メタンスルホニル基、メトキシメチル基、メチルチ オメチル基、メタンスルホニルメチル基、メチルアミノ 基、エチルアミノ基、ジメチルアミノ基、ジメチルアミ ノメチル基またはQ(h)基が挙げられる。

【0011】R2としては水素原子、メチル基、エチル 基、プロビル基または i - プロビル基が挙げられ、好ま しくは水素原子が挙げられる。

【0012】R3としては水素原子、塩素原子、臭素原 子、フッ素原子、ヨウ素原子、ニトロ基、シアノ基、メ チル基、エチル基、プロピル基、i-プロピル基、トリ フルオロメチル基、2,2,2-トリフルオロエチル 基、メトキシ基、エトキシ基、トリフルオロメトキシ 基、メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、メ チルチオ基またはメタンスルホニル基が挙げられ、好ま 30 しくは水素原子、塩素原子、臭素原子、フッ素原子、シ アノ基、メチル基、エチル基またはトリフルオロメチル 基が挙げられる。

【0013】R3の置換位置としては、アニライド結合 に対して2位、3位、4位、5位または6位が、置換数 としてはモノ置換、ジ置換、トリ置換またはテトラ置換 が挙げられ、好ましくは以下の置換様式が挙げられる。

[0014]

【化6】

50

 $\stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \stackrel{\mathsf{Cl}}{\leftarrow} , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \stackrel{\mathsf{F}}{\leftarrow} , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \stackrel{\mathsf{Br}}{\rightarrow} , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \stackrel{\mathsf{CN}}{\rightarrow} , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}{\leftarrow} \bigcirc , \stackrel{\mathsf{Me}}$ $\overset{\mathsf{Me}}{\longrightarrow}_{\mathsf{Br}}, \ \overset{\mathsf{Me}}{\longrightarrow}_{\mathsf{N}}, \ \overset{\mathsf{Et}}{\longrightarrow}^{\mathsf{Cl}}, \ \overset{\mathsf{Et}}{\longrightarrow}^{\mathsf{F}}, \ \overset{\mathsf{Br}}{\longrightarrow}^{\mathsf{Fr}}, \ \overset{\mathsf{Et}}{\longrightarrow}^{\mathsf{CN}},$ $\stackrel{\mathsf{NC}}{\longrightarrow} , \stackrel{\mathsf{NC}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{NC}}{\longrightarrow} , \stackrel{$ $\overset{\mathsf{M}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{C}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{M}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{F}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{M}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{R}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{R}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{C}}{\longrightarrow}\overset{\mathsf{$ $\stackrel{\mathsf{B}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{B}_\mathsf{f}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{E}_\mathsf{f}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{O}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{M}_\mathsf{g}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{G}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{M}_\mathsf{g}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{F}_\mathsf{f}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{M}_\mathsf{g}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{C}_\mathsf{f}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{M}_\mathsf{g}}{\longrightarrow} \stackrel{\mathsf{M}_\mathsf{g$ $\overset{\text{B}}{\Longrightarrow} \overset{\text{C}_1}{\Longrightarrow} , \ \overset{\text{E}_1}{\Longrightarrow} \overset{\text{E}_2}{\Longrightarrow} \overset{\text{B}_3}{\Longrightarrow} \overset{\text{E}_3}{\Longrightarrow} \overset{\text{CN}}{\Longrightarrow}$

っていてもよく、水素原子、メチル基、エチル基、プロ ビル基、i-プロビル基、-(CH,),-、-(C H₂),-、- (CH₂),-、シクロプロピル基、トリフ ルオロメチル基、フェニル基、4-クロロフェニル基、 4-フルオロフェニル基、2-フルオロフェニル基、ベ ンジル基、塩素原子、臭素原子、フッ素原子、ヨウ素原 子、シアノ基、ニトロ基、メトキシ基、エトキシ基、ジ フルオロメトキシ基、メチルチオ基、メタンスルポニル 基、ジメチルスルファモイル基、メトキシメチル基、メ ルボニル基、ジメチルカルバモイル基、ジメチルアミン 基、ジメチルアミノメチル基、ヒドロキシ基、ホルミル 基、カルボキシル基、アセチル基、プロビオニル基、ヒ ドロキシイミノメチル基、1-(ヒドロキシイミノ)エ チル基、メトキシイミノメチル基、1-(メトキシイミ ノ) エチル基、エトキシイミノメチル基または1-(エ トキシイミノ)エチル基が挙げられ、好ましくは水素原 子、メチル基、- (CH2),-、トリフルオロメチル 基、塩素原子、臭素原子、フッ素原子、シアノ基、メト メチル基、メチルチオメチル基またはメトキシカルボニ ル基が挙げられる。

【0016】R6およびR7としては、互いに同一でも 相異なっていてもよく、水素原子、メチル基、エチル 基、プロピル基または i - プロピル基が挙げられ、好ま しくは水素原子、メチル基またはエチル基が挙げられ

【0017】R8としては水素原子、メチル基、エチル 基、プロピル基または i - プロピル基が挙げられ、好ま しくはメチル基が挙げられる。

【0018】R9としては水素原子、メチル基、エチル 基、プロビル基、i-プロビル基、シクロプロビル基、 トリフルオロメチル基、トリクロロメチル基、メトキシ 基、エトキシ基、ジフルオロメトキシ基、メチルチオ 基、エチルチオ基、メタンスルホニル基、エタンスルホ ニル基、塩素原子、臭素原子、フッ素原子、ヨウ素原 子、ニトロ基またはシアノ基が挙げられ、好ましくは水 素原子、メチル基、トリフルオロメチル基、メトキシ 基、メチルチオ基、メタンスルホニル基、塩素原子、フ 10 ッ素原子またはシアノ基が挙げられる。

【0019】R10としては水素原子、メチル基、エチ ル基、プロビル基、i-プロビル基、ブチル基、ペンチ ル基、ヘキシル基、2,2,2-トリフルオロエチル 基、シクロプロビル基、シクロベンチル基、アリル基、 プロパルギル基、フェニル基、ベンジル基、メトキシカ ルボニルメチル基またはエトキシカルボニルメチル基が 挙げられ、好ましくはメチル基、エチル基、プロピル 基、ブチル基またはペンチル基が挙げられる。

【0020】R11およびR12としては、同一でも相 【0015】R4およびR5としては、同一でも相異な 20 異なっていてもよく、水素原子、メチル基、エチル基、 プロピル基、i-プロピル基、ブチル基、i-ブチル 基、s-ブチル基、t-ブチル基、ペンチル基、ヘキシ ル基、- (CH₂),-基、- (CH₂),-基、- (CH ,),-基、- (CH,),-基、- (CH,),-基、トリ クロロメチル基、トリフルオロメチル基、2,2,2-トリフルオロエチル基、2-クロロエチル基、2-フル オロエチル基、3-クロロプロピル基、3-フルオロブ ロビル基、シクロプロビル基、シクロプロビルメチル 基、シクロペンチル基、シクロヘキシル基、アリル基、 チルチオメチル基、メトキシカルボニル基、エトキシカ 30 メタリル基、クロチル基、3-クロロ-2-プロペニル 基、3、3-ジクロロ-2-プロペニル基、プロパルギ ル基、1-メチル-2-プロピニル基、1,1-ジメチ ルー2ープロピニル基、2ープチニル基、フェニル基ま たはベンジル基が挙げられ、好ましくは水素原子、メチ ル基、エチル基、プロピル基、ブチル基、i-ブチル 基、s-ブチル基、ペンチル基、-(CH₂),-基、 2, 2, 2-トリフルオロエチル基、2-フルオロエチ ル基、3-クロロプロピル基、3-フルオロプロピル 基、シクロプロピル基、シクロプロピルメチル基、シク キシ基、メチルチオ基、メタンスルホニル基、メトキシ 40 ロペンチル基、アリル基またはプロパルギル基が挙げら

> 【0021】R13としては水素原子、メチル基、エチ ル基、i-プロピル基またはアリル基が挙げられ、好ま しくは水素原子またはメチル基が挙げられる。

【0022】R14としては水素原子、メチル基、エチ ル基、プロピル基、i-プロピル基、ブチル基、i-ブ チル基、s-ブチル基、t-ブチル基、ペンチル基、ヘ キシル基、アリル基、プロパルギル基、3-クロロ-2 - プロペニル基、シクロプロピル基、シクロプロピルメ 50 チル基またはシクロペンチル基が挙げられ、好ましくは

メチル基、エチル基、プロピル基、アリル基、シクロプロピル基またはシクロプロピルメチル基が挙げられる。 【0023】R15としては水素原子、メチル基、エチル基またはプロビル基が挙げられる。

【0024】本発明化合物(I)は、たとえばスキーム 1 および2に示す方法で合成することができる。 【0025】スキーム1および2のR1,R3,Z1, Z2,R10,R11,R12,R13、R14、R1 5 およびXは、それぞれ前記と同様の意味を表わす。

[0026]

[化7]

(スキーム 1)

【0027】 (スキーム1) βーケトエステル(II)とシアノ蟻酸エステルとの付加反応によりエナミン(II)とする。次いで、アミノアゾールとの反応によりアゾール縮合ビリミジンカルボン酸ジエチル(IV)とする。エステルを加水分解してジカルボン酸(V)とした後、脱水して酸無水物(VI)とし、アニリン(VII)と反応させることによりアニライド(VIII)とする。さらに脱水してイミド(IX)とし、各種の求核剤(X)と反応させることにより、本発明化合物(I:XがCO,R16、CON(R11)R12、CON(R13)N(R11)R12またはCON(R13)OR14で、Z1-Z2-Z3-Z4-Z5-Z1がC-N-N=Z4-Z5=Cの場合。)を合成することが出来る。

【0028】β-ケトエステル(II)は、たとえばSynthesis、1993,1993(3)、290などを参考にして合成することができる。また、エナミン(III)は、例えばJ. Mol. Catalysis、54,73(1989)や、Journal of Organic Chemistry、48,383

3 (1983) などを参考にして合成することが出来

【0029】化合物(III)から化合物(IV)への縮合環化反応で使用できる溶媒としては、たとえばベンゼン、トルエン、キシレンなどの芳香族炭化水素類、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化炭化水素類、アセトニトリル、N,Nージメチルホルムアミドなどの非プロトン性極性溶媒類、ジエチルホーテル、テトラヒドロフラン、ジオキサンなどのエーテルが、メタノール、エタノールなどのアルコール類が挙げられ、好ましくはテトラヒドロフラン、ジオキサンなどのエーテル類またはメタノール、エタノールなどのアルコール類が挙げられる。

【0030】反応温度は室温ないし溶媒の沸点域から選択すればよく、反応時間は反応温度、反応規模により一定しないが、数分ないし48時間の範囲で行えばよい。 好ましくは30分から5時間の範囲がよい。

【0031】反応終了後、目的物を単離し、必要に応じ 20 て再結晶、蒸留、カラムクロマトグラフィーなどの精製 手段によって目的物を精製することができるが、目的物 を単離せず、そのまま次の反応に進んでもよい。

【0032】化合物(IV)から化合物(V)への加水分解反応で使用できる溶媒としては、たとえばメタノール、エタノールなどのアルコール類、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化炭化水素類、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの芳香族炭化水素類、アセトニトリル、N、Nージメチルホルムアミドなどの極性非プロトン性溶媒類、ジエチルエーテル、テ30トラヒドロフラン、ジオキサンなどのエーテル類またはアセトン、メチルエチルケトンなどのケトン類が挙げられ、好ましくはメタノール、エタノールなどのアルコール類が挙げられる。これらの溶媒は単独で、また混合して使用することもできる。

【0033】加水分解の触媒としては、たとえば水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、炭酸水素ナトリウム、炭酸水素カリウムなどの無機塩基類、塩酸、硫酸などの鉱酸類が挙げられ、好ましくは水酸化ナトリウムまたは水酸化カリウムを使用することができる。これらの触媒の使用量は、化合物(IV)に対して0.1ないし過剰モル使用するのがよく、好ましくは等モルないし2倍モル使用するのがよい。

【0034】反応温度は-10℃ないし不活性溶媒の沸点域から選択すればよく、好ましくは室温ないし120℃の範囲で行えばよい。反応時間は反応温度、反応規模等により一定しないが、数分ないし48時間の範囲で行えばよく、好ましくは30分ないし5時間で行うのがよい。また、目的物は必要に応じて抽出、再結晶、カラムクロマトグラフィー、蒸留等の単離手段により精製できるが、特に精製を行わず、そのまま次の反応に供するこ

(8)

ともできる。

【0035】化合物(V)から化合物(VI)への脱水 閉環反応で使用できる溶媒としては、反応の進行を阻害 しないものがよく、たとえばジクロロメタン、クロロホ ルムなどのハロゲン化炭化水素類、ベンゼン、トルエ ン、キシレンなどの芳香族炭化水素類、N、N-ジメチ ルホルムアミド等の非プロトン性極性溶媒類、酢酸、ト リフルオロ酢酸などの有機酸を使用することができる。 また、以下に例示する脱水剤をそのまま溶媒として用い てもよい。

13

【0036】脱水剤としては、例えば無水酢酸、無水ト リフルオロ酢酸、塩化チオニル、オキシ塩化リン、ジシ クロヘキシルカルボジイミド等を使用することができ、 その使用量は化合物(V)に対して等モルないし過剰モ ル使用することができ、また、溶媒として用いてもよ 61

【0037】反応温度は室温ないし溶媒の沸点域から選 択すればよく、反応時間は反応温度、反応規模等により 一定しないが、数分ないし48時間の範囲で行えばよ く、好ましくは30分から5時間の範囲がよい。

【0038】反応終了後、目的物を単離し、必要に応じ て再結晶、蒸留、カラムクロマトグラフィー等の精製手 段により目的化合物を精製することができるが、目的化 合物を単離せず、そのまま次の反応に供してもよい。

【0039】化合物(VI)から化合物(VIII)へ のアニライド化合物への合成反応で使用できる溶媒とし ては、たとえば化合物(III)から化合物(IV)へ の合成反応で例示した溶媒のほかに、必要に応じてピリ ジン類も使用することができる。

【0040】反応は化合物(VI)に対して化合物(V 30 II)のアニリンを等モルないし過剰モル使用すること ができるが、等モルないし2倍モルが好ましい。またア ニリン化合物の塩を用いてもよい。

【0041】また、適当な塩基を用いて反応を行っても よい。使用できる塩基としては、たとえば水酸化ナトリ ウム、水酸化カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸カリウ ム、炭酸水素ナトリウムなどの無機塩基類、水素化ナト リウムなどの水素化金属類、ピリジン、トリエチルアミ ン、1,8-ジアザビシクロ〔5,4,0〕-7-ウン デセンなどの有機塩基類、ナトリウムメトキシドなどの 40 1)とする。さらに脱水してイミド(XIII)とし、 アルコキシド類が挙げられる。

【0042】塩基は化合物(V)に対して等モルないし 過剰モル使用することができるが、好ましくは等モルな いし2倍モル使用できる。

【0043】反応温度は-10℃から不活性溶媒の沸点 域から選択すればよく、好ましくは0℃ないし150℃ の範囲で行えばよい。

【0044】反応時間は反応温度、反応規模により一定 しないが、数分ないし48時間で行えばよく、好ましく は30分から5時間の範囲がよい。

【0045】反応終了後、目的物を単離し、必要に応じ て再結晶、蒸留、カラムクロマトグラフィー等の単離手 段によって精製できるが、特に精製を行わず、そのまま 次の反応に供する事もできる。

【0046】化合物(VIII)から化合物(IX)へ の脱水反応は、化合物(V)から化合物(VI)への脱 水反応に用いる条件と同様に反応を行うことが出来る。 【0047】化合物(IX)から化合物(I)への反応 で使用できる溶媒としては、例えば化合物(IV)から 10 化合物(V)への加水分解で使用する溶媒類を使用する **とができる。**

【0048】反応温度は室温ないし溶媒の沸点域から選 択すればよく、反応時間は反応温度、反応規模等により 一定しないが、数分ないし48時間の範囲で行えばよ く、好ましくは30分から5時間の範囲がよい。 【0049】反応は化合物(1X)に対し、求核試剤 (X)を等モルないし過剰モル使用することができ、好 ましくは等モルないし2倍モル使用することができる。 【0050】反応終了後、目的物を単離し、必要に応じ 20 て再結晶、蒸留、カラムクロマトグラフィー等の精製手 段により目的化合物を精製することができる。

[0051]

【化8】

(スキーム2)

【0052】(スキーム2)酸無水物(XI)をアニリ ン(VII)と反応させることによりアニライド(XI 各種の求核剤(X)と反応させることにより本発明化合 物(I:XがCO,R16、CON(R11)R12、 CON (R13) N (R11) R12 # t t CON (R 13) OR 14 c, Z1 - Z2 - Z3 - Z4 - Z5 - Z 1 MN - C = C (R15) - C (R4) = C (R5) -Nの場合。)を合成することが出来る。化合物(XI) より本発明化合物への合成反応は(スキーム1)の化合 物(VI)から本発明化合物(I: XがCO, R16、 CON (R11) R12, CON (R13) N (R1 50 1) R12 ** kt CON (R13) OR14 °C, Z1 -

16

Z2-Z3-Z4-Z5-Z1がC-N-N=Z4-Z 5 = Cの場合。) への合成反応に用いる条件と同様に反 応を行うことが出来る。酸無水物(XI)は、例えば、 特開平6-184154号公報などを参考に合成すると とが出来る。

15

[0053]

[実施例]以下、本発明化合物およびその中間体の合成 例を実施例として具体的に述べるが、本発明はこれらに よって限定されるものではない。

(実施例1)

[1-1] 7-メチルピラゾロ[1,5-a] ピリミジ ン-5,6-ジカルボン酸ジエチルの合成

[0054]

【化9】

【0055】2-アミノ-3-エトキシカルボニル-4 -オキソベンテノイックアシッドエチルエステル7g (30.6mmol)と3-アミノビラゾール2.6g 20 温で3時間攪拌した。反応終了後、溶媒を減圧留去し、 (31.3 mmol)を1.4-ジオキサン5 ml溶媒 中で2時間加熱還流した。反応終了後、室温まで戻し、 減圧下で溶媒を留去することにより7-メチルピラゾロ [1,5-a] ピリミジン-5,6-ジカルボン酸ジエ チルの粗油状物を得た。これは精製せず、次の反応に用

[1-2] 7-メチルピラゾロ[1, 5-a] ピリミジ ン-5,6-ジカルボン酸の合成

[0056]

【化10】

【0057】〔1-1〕で得られた7-メチルピラゾロ [1,5-a] ピリミジン-5,6-ジカルボン酸ジエ チルをエタノール60m1に溶かし、水酸化ナトリウム 水溶液 (NaOH/H₂O=2.4g/60ml)を加 え、室温で3時間攪拌した。反応終了後、減圧下で大部 分のエタノールを留去し、残った水溶液に濃塩酸を加え てpH2とした。析出した結晶を適取し、減圧乾燥する ことにより、7-メチルピラゾロ[1,5-a]ピリミ ジン-5, 6-ジカルボン酸1.95gを得た。融点1 84℃(分解)。

[1-3]7-x+n+y+1=[1, 5-a]+y+1=y+1=[1, 5-a]+y+1=[1, 5-a]+yン-5.6-ジカルボン酸無水物の合成

[0058]

【化11】

【0059】7-メチルピラゾロ[1,5-a]ピリミ ジン-5,6-ジカルボン酸1.5gおよび無水酢酸1 5m1の混合物を、110℃で30分間攪拌した。反応 終了後、酢酸および過剰の無水酢酸を減圧留去すること により、7-メチルピラゾロ[1,5-a] ピリミジン -5,6-ジカルボン酸無水物を得た。得られた無水物 は精製することなく次の反応に用いた。

[1-4]7-3+3-5-(3-2)エチルフェニルアミノカルボニル) ピラゾロ[1,5-10 a] ピリミジン-6-カルボン酸の合成

[0060]

(9)

【化12】

【0061】 (1-3) で得られた7-メチルピラゾロ [1,5-a] ピリミジン-5,6-ジカルボン酸無水 物をテトラヒドロフラン30mlに溶かし、そとへ3-クロロ-2,6-ジエチルアニリン1.5gを加え、室 析出した結晶をヘキサンとジエチルエーテルとの混合溶 媒にて洗浄し、減圧乾燥することにより、7-メチルー 5-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニルアミノカ ルボニル) ピラゾロ[1,5-a] ピリミジン-6-カ ルボン酸1.5gを得た。

[1-5] 7-x+u-N-(3-2) [3-2]エチルフェニル) ピラゾロ [1,5-a] ピリミジンー 5,6-ジカルボキシイミドの合成

[0062]

30 【化13】

【0063】7-メチル-5-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニルアミノカルボニル) ピラゾロ[1,5 -a] ピリミジン-6-カルボン酸1.5gを無水酢酸 30m1中、約20mg(触媒量)の酢酸ナトリウム存 在下、110℃で30分間攪拌した。反応終了後、酢酸 および過剰の無水酢酸を留去し、クロロホルムを展開溶 媒とするシリカゲルカラムクロマトグラフィーにより精 製し、7-メチル-N-(3-クロロ-2,6-ジエチ ルフェニル) ピラゾロ[1,5-a] ピリミジン-5, 6-ジカルボキシイミド1.3gを得た。

[1-6] 7-x $\pm h$ -6-(3-p) -2 -6-9エチルフェニルアミノカルボニル) ピラゾロ[1,5a] ピリミジン-5-カルボン酸-i-ブチルアミド

(化合物1-3)の合成

[0064]

【化14】

【0065】7-メチル-N-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニル)ビラゾロ[1,5-a]ビリミジン-5,6-ジカルボキシイミド0.6g(1.6mmo1)を1,4-ジオキサン20m1に溶かし、そこへイソブチルアミン0.2g(2.7mmo1)を加え、室温で2時間攪拌した。反応終了後、溶媒および過剰のイソブチルアミンを減圧留去し、析出した固体をジエチルエーテルと少量のクロロホルム溶液で洗浄し、減圧乾燥することによって、7-メチル-6-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニルアミノカルボニル)ビラゾロ[1,5-a]ビリミジン-5-カルボン酸-i-ブチルアミド0.6gを得た。

融点277-279℃ (実施例2)

. 7

[2-1]2-(3-クロロ-2,6-ジェチルフェニルアミノカルボニル)ピロロ[1,2-b]ピリダジン 20-3-カルボン酸の合成

[0066]

【化15】

【0067】ピロロ[1,2-b]ピリダジン-2,3-ジカルボン酸無水物0.60gをテトラヒドロフラン20m1に溶かし、そこへ氷冷下で3-クロロ-2,6-ジエチルアニリン0.59gを加えた。その混合物を室温で一晩攪拌した後、さらに加熱還流下で10時間攪拌した。反応終了後、溶媒を減圧留去し、クロロホルムと酢酸エチルとの混合溶媒を展開溶媒とするシリカゲルカラムクロマトグラフィーにより精製し、溶媒を減圧留去した。さらに析出した結晶をジエチルエーテルにて洗浄し、減圧乾燥することにより、2-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニルアミノカルボンル)ピロロ[1,2-b]ピリダジン-3-カルボン酸1.0gを得た。

(2-2) N-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニ 40 ル) ピロロ[1,2-b] ピリダジン-2,3-ジカル ボキシイミドの合成

[0068]

【化16】

-4-

【0069】2-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニルアミノカルボニル)ビロロ [1,2-b] ピリダジン-3-カルボン酸0.90gを無水酢酸10ml中、120℃で15分間攪拌した。反応終了後、溶媒を留去し、析出した結晶をジエチルエーテルにて洗浄し、減圧乾燥することにより、N-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニル)ビロロ [1,2-b] ピリダジン-2,3-ジカルボキシイミド0.82gを得た。 [2-3]3-(3-クロロ-2,6-ジエチルフェニルアミノカルボニル)ビロロ [1,2-b] ピリダジン-2-カルボン酸アリルアミド(化合物No.2-5)

[0070]

【化17】

の合成

融点213-214℃

前記実施例に準じて合成した本発明化合物の構造式と物性を、前記実施例を含め、それぞれ第1表および第2表 に示す。

〔第1表〕

[0072]

【化18】

【0073】 【表1】

化合物 N o .		R4 R5	х	R 3	物性値	
1- 1 1- 2	Me Me		CONHi-Bu CONHCH, CH=CH,		mp 276°C(dec.) mp 271–273°C	

```
19
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-C1 mp 277-279°C
                      Н
                           CONHi-Bu
1-3
        Me
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 289°C(dec.)
        Мe
                   Н
                      Н
                           CONHCH, CH=CH,
1- 4
                                                                  mp 271-272°C
                           CONHCH, CH=CH,
                                                 2-Me-3-C1
1- 5
        Me
                   Н
                      н
                                                                  mp 264-266°C
                  н н
                           CONHi-Bu
                                                 2-Me-3-C1
1-6
        Мe
                                                2-Me-3-C1
                                                                  mp 260-262°C
                  н
                      н
                           CONHET
1- 7
        Me
                                                                  mp 259-261°C
                      Н
                           CONHCH₂ C≡CH
                                                 2-Me-3-C1
1-8
        Me
                  н
                      C٦
                           CONHCH, CH=CH
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 305°C <
1- 9
        Mo
                  н
                           CONHCH, CH=CH,
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 263-265°C (dec.)
                   Н
                      CN
1-10
        Me
                                                                  mp 305-307°C
                      C1
                           CONHi-Bu
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
1-11
        Me
                   Н
                                                                  mp 302-304°C
                      Br
                           CONHCH, CH=CH,
                                                 2,6-Et,-3-C1
1-12
        Me
                                                                  mp 308-310°C
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-C1
                           CONHi-Bu
        Me
                      Br
1-13
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-C7
                                                                  mp 300°C<
                           CONHET
1-14
        Me
                   н
                      Н
                                                                  mp 302-303°C
                   н н
                           CONHPr
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
1-15
        Me
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-C7
                                                                  mp 294-295°C
                           CONHCH, CH=CH,
                   Н
                      Me
1-16
        Me
                           CONHi-Bu
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 307-308°C
                      Me
1-17
        Me
                   Н
                      Мe
                           CONHET
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 305°C<
        Me
1-18
                                                                  mp 191-193°C
                      Н
                           CON(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>
                                                2-Me-3-C1
1-19
        Me
                                                 2,6-Et,-3-Cl mp 225-227°C
                           CON(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>
1-20
        Me
                   H H
                           CONHCH, CH=CH,
                                                 2,6-Et,-3-Cl mp 218-221°C
1-21 MeOCH2
                   Me H
                   H MeO CONHCH, CH=CH,
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-C1 mp 294-295°C
1-22
        Me
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 303-305°C
        Me
                   н
                      MeO CONHET
1-23
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 218-221°C
1-24 MeOCH2
                   н
                      Н
                           CONHCH, CH=CH,
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 277-279°C
                                                                                  (dec.)
1-25 MeOCH2
                   Н
                      Н
                           CONHET
                                                 2,6-Et,-3-Cl mp 188-189°C
1-26 MeOCH
                   Н
                      н
                           CON(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>
                                                                  mp 254-258°C
                   H C1
                           CONHCH, CH=CH,
                                                 2-Me-3-C1
1-27
        Me
                                                 2-Me-3-C1
                                                                  mp 226-229°C
                           CON(CH2)4
1-28
        Me
                   H C1
                   H Cl
                           CONHET
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 300°C<
1-29
        Me
1-30
                   H Cl
                           CON(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 250-252°C
        Me
                                                 2,6-Et,-3-Cl mp 167-169°C
1-31 MeSCH<sub>2</sub>
                   н н
                           CON(CH2)4
                                                 2-Me-3-C1
                                                                  mp 191-195
        Мe
                   Н
                      C1
                           CONHNHET
1-32
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 127-131°C
1-33 MeS(0)CH, H H
                           CON(CH2)4
1-34 MeSO, CH,
                   н н
                           CON(CH2)
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 184-187°C
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                      C1
                           CON(CH2)4
                                                                  mp 160-163°C
1-35 MeSCH<sub>2</sub>
                   Н
1-36
        Me
                   H Me
                           CON(CH<sub>2</sub>)<sub>4</sub>
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-C1 mp 223-226°C
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 285-288°C
1-37 MeSCH<sub>2</sub>
                      C1
                           CONHET
                   H
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 242-244°C
1-38 MeSO, CH
                   н н
                           CONHET
                                                 2-Me-3-C1
                                                                  mp 266-267°C
1-39
        Me
                   H C1
                           CONCH, CH(OH)Me
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 300°C<
                   H C1
                           CONHMe
1-40
        Me
                                                                  mp 198-200°C
        Me
                   H C1
                           COMMEET
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
1-41
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 300°C <
                   H C1
                           CONHc-Pr
1-42
        Me
                                                                  mp 300°C <
                      C1
                           CONHCH, c-Pr
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
1-43
        Me
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 300°C <
                      C٦
                           CONHCH, CH, F
1-44
                                                                  mp 300°C <
                                                 2,6-Et,-3-Cl
1-45
                      C1
                           CONHCH, CH, OH
                   H Cl
                           CONHCH, CH, CT
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 222-224°C
1-46
         Мe
                                                 2,6-Et<sub>4</sub>-3-C1
                                                                  mp 300°C <
                           CONHMe
                   H H
1-47
         Me
1 - 48
        Me
                   H H
                           CONHCH<sub>2</sub> c-Pr
                                                 2,6-Et,-3-Cl
                                                                  mp 300°C <
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 192-195°C
1-49
                   Н
                      Н
                           CONMe<sub>2</sub>
         Me
                      Н
                            CONHCH, CH, C1
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl
                                                                  mp 237-239°C
1-50
         Me
                   Н
                                                 2.6-Et, -3-C7 mp 197-199°C
                   H Cl
                           CONHi-Pr
1-51
                                                 2,6-Et<sub>2</sub>-3-Cl mp 282-284°C
                            CONHCH, CH, F
1-52
                   Н
                      Н
```

OHF 40

MeSO₂CH₂

21 22 1-53 Me H OH CONHCH, CH=CH, 2,6-Et,-3-C1 mp 251-253°C(dec.)

(第2表)[0074](化19]

*【0075】 【表2】

CINT HO!

*

化合物 N o .	X	R 3	物性値
 2- 1	солнсң ан⊨сң	2-Me-3-C1	mp 214-216°C
2- 2	CONHET	2-Me-3-C1	mp 227-229°C
2- 3	CONHi-Bu	2-Me-3-C1	mp 195-197°C
2- 4	CONHi-Bu	2,6-Et ₄ -3-C7	mp 192-194°C
2- 5	СОЛНСН, СН⊨СН,	2,6-Et, -3-C1	mp 213-214°C
2- 6	CONHET	2,6-Et,-3-Cl	mp 226-228°C

前記スキームあるいは実施例に準じて合成される本発明 化合物を、前記実施例を含めて第3表に例示するが、本 20 発明はこれらに限定されるものではない。なお、表中、 Ph (R3) は以下に示す構造を表わす。

[0076]

[化20]

[0079] [化22]

40

$$\bigoplus_{\mathbf{B}}^{\mathbf{C}}, \quad \bigoplus_{\mathbf{B}}^{\mathbf{B}}, \quad \bigoplus_{\mathbf{E}\mathbf{I}}^{\mathbf{E}\mathbf{I}}, \quad \bigoplus_{\mathbf{B}}^{\mathbf{B}} \bigcirc_{\mathbf{C}\mathbf{N}}^{\mathbf{B}}$$

【0077】また、R1は以下の構造を表わす。 【0078】 【化21】

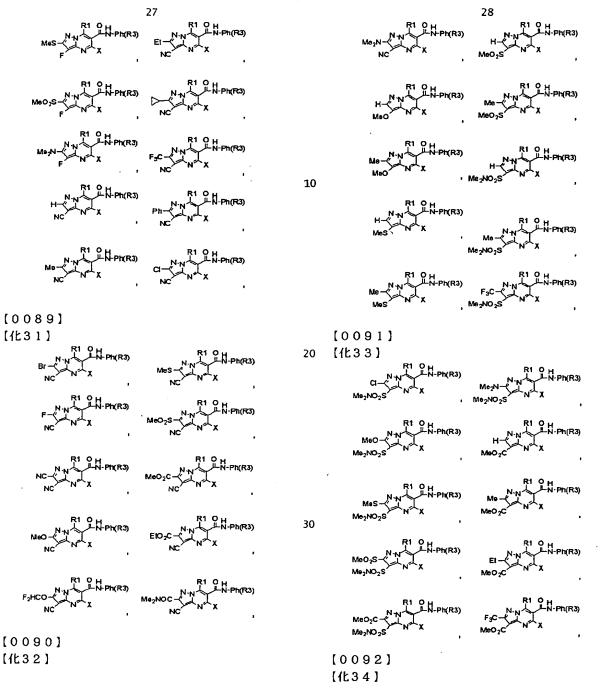
【化26】

10 EI N. N. Ph(R3)

F-+CO N. N. N. N. N. N. N. Ph(R3) [0085] [0087] [化27] [化29] F₃C N N X Ph N X MeS - N - N - Ph(R3) MeO₂S N N N PH(R3) R1 O H N-N-Ph(R3) N-N-Ph(R3) MeO₂C-N-N-PMR3)
NC-N-N-PMR3) MeO N. N. X F₂HCO N. N. X X MezN-PY(R3)

Me N-N-PY(R3) MeS N-N X MeO₂C N-N X H Ph(R3) MeO₂S-N-N-Ph(R3) EtO₂C-N-N-X X [0088] [化30] [0086] 40 【化28】

j.



R1 0 H N-N-Ph(R3) Me N-N-Ph(R3) 【化41】 R1 O H N-N-Ph(R3) Me N-N-Ph(R3) E1 O H - Ph(R3)

E1 N N X F3C N N X R1 O H Ph(R3)

EI - N N X F₃C N N X

Meoc Meoc Meoc N X CI—N N N N-Ph(R3)

R1 O H
N-Ph(R3)

NC N N N N-Ph(R3)

HO N X MeO-N-N-Ph(R3)
HO N-Ph(R3)

MeS-N-N-N-Ph(R3) MeOC N X MeS N X MeOC N X MeSO₂ N.N. X Me₂N-Ph(R3) MeSO₂ NNN X MeSO₂ NNN X MeSO₂ X X [0097] 【化39} [0100] 【化42】 HOHE NO HE N R1 O H N-N-Ph(R3) 20 EI OH-Ph(R3)
OHC X F3C N-N X R1 O H Ph(R3)

EI N X F₃C N X

F₃C N X R1 O H
NN T N-Ph(R3)

CI X NC N X

EIOC N X MeO N X MeS N N X N N X MeO-N-X MeS-N-Ph(R3) 30 MeSO₂— N X FIGC X FIGC X FIGC X [0098] [化40] [0101] [化43] H-N-N-Ph(R3) MoN=HC N X MoON=HC N X R1 O H N-Ph(R3) HO-C N X F3C N-N N-Ph(R3) MeON=HC

R1 O H
N-Ph(R3)

F₂C
N.N
N-Ph(R3)

R1 O H
N-Ph(R3) R1 0 H N-N-Ph(R3) R1 0 H N-N-Ph(R3) H0₂C N X NC-V N X MeoN=HC

R1 O H
N-Ph(R3)

MeON=HC

N-N-Ph(R3)

MeON=HC

N-N-Ph(R3)

MeON=HC

N-N-Ph(R3)

MeON=HC

N-N-Ph(R3)

MeON=HC

N-N-Ph(R3)

MeON=HC

N-N-Ph(R3) MeO N N X MeS N N X HO₂C N X MeSO₂—N.N.X.Me₂N-Ph(R3)

50

[0099]



Χ

CONH, CONHMe, CONHEt, CONHPr, CONHi-Pr, CONHBu, CONHi-Bu, CONHs-Bu, CONHt-Bu, CO NHPen, CONHHex, CONHCH, CH, C1, CONHCH, CH, B r, CONHCH, CH, F, CONHCH, CC1, CONHCH, CF, CO NH (CH₂),C1, CONH (CH₂),Br, CONH (CH₂),F, CON Hc-Pr, CONHc-Pen, CONHc-Hex, CONHCH2c-P r, CONHCH, CH=CH, CONHCH, CH=CHMe, CONHCH, CH=CHC1, CONHCH, C=CH, CONHCH (Me) C=CH, C ONHCH, C = CMe, CONHPh, CONHCH, Ph, CONHCH (M e) Ph、CO-1-ピペリジノ、CO-1-ピロリジノ、CONHMe、CO N (Me) 1. CON (Me) Et. CON (Me) Pr. CON (Me) i −

Pr. CON (Me) Bu. CON (Me) i −Bu. CON (Me) s −Bu

. CON (Me) t −Bu. CON (Me) Pen. CON (Me) Hex. C

ON (Me) CH2CL1. CON (Me) CH2CH2Br. CON (Me)

CH2CH2F. CON (Me) CH2CC1. CON (Me) CH2CF3. CO

N (Me) (CH2), Cl. CON (Me) (CH2), Br. CON (Me) (

CH2), F. CON (Me) c −Pr. CON (Me) c −Pen. CON (Me)

e) c −Hex. CON (Me) CH2c −Pr. CON (Me) CH2CH=C

H2. CON (Me) CH2CH=CHMe. CON (Me) CH2CH=CHC

1. CON (Me) CH2C=CH. CON (Me) CH (Me) C=CH. C

ON (Me) CH2C=CMe. CON (Me) Ph. CON (Me) CH2Ph

. CON (Me) CH (Me) Ph. CONHEt. CON (Et) 2. CON

(Et) Pr. CON (Et) i −Pr. CON (Et) Bu. CON (Et)

i −Bu. CON (Et) Hex. CON (Et) CH2CH2C1. CON (Et)

Pen. CON (Et) Hex. CON (Et) CH2CH2C1. CON (Et)

) CH₁CH₂Br, CON (Et) CH₂CH₂F, CON (Et) CH₂CCl₃, CON (Et) CH₂CF₃, CON (Et) (CH₂),Cl, CON (Et) (CH₂),Br, CON (Et) (CH₂),F, CON (Et) c-Pr, CON (Et) c-Pen, CON (Et) c-Hex, CON (Et) CH₂c-Pr, CON (Et) CH₂CH=CHMe, CON (Et) CH₂CH=CHMe, CON (Et) CH₂CH=CHMe, CON (Et) CH₂CH=CHMe, CON (Et) CH₂CEMe, CON (Et) CH (Me) CECH, CON (Et) CH₂CEMe, CON (Et) CH (Me) CECH, CON (Et) CH (Me) Ph, CON (Et) CH (Me) Ph, CON (Et) CH₂CH=CH₂, CON (Et) CH (Me) CH₂CH=CH₂, CON (Et) CH (Et) CH₂CH=CH₂, CON (Et) CH₂CH=CH₂, CON (Et) CH=CH₂, CON

2. CON (CH₂CH=CH₂) CH₂CH₂C1, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂CH₂Br, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂CH₃F, CON (CH₂C H=CH₂) CH₂CC1, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂CF, CON (CH₂CH=CH₂) (CH₂),C1, CON (CH₂CH=CH₂) (CH₂),B r, CON (CH₂CH=CH₂) (CH₂),F, CON (CH₂CH=CH₂) c -Pr, CON (CH₂CH=CH₂) c-Pen, CON (CH₂CH=CH₂) c-Hex, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂c-Pr, CON (CH₂CH=

CH, CON (Pen) CH, CH=CH, CON (Hex) CH, CH=CH

CH₂) CH₂CH=CH₃, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂CH=CHMe, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂CH=CHC1, CON (CH₂CH=CH₂) CH₂C=CH, CON (CH₂CH=CH₃) CH (Me) C=CH, CON (CH₂CH=CH₃) CH₂C=CMe, CON (CH₂CH=CH₃) Ph, CON (CH₂CH=CH₃) CH₂Ph, CON (CH₂CH=CH₄) CH (Me)

) Ph. CONHNH,

CONHNHME, CONHNHET, CONHNHPT, CONHNHI-PT, CONHNHBU, CONHNHI-BU, CONHNHS-BU, CONHNHL-BU, CONHNHHEX, CONHNHCH, CH, CI, CONHNHCH, CH, BT, CONHNHCH, CH, F, CONHNHCH, CCI, CONHNHCH, CF, CONHNH (CH,), CI, CONHNH (CH,), BT, CONHNH (CH,), F, CONHNHC-PT, CONHNHC-PT, CONHNHC-PT, CONHNHC-PT, CONHNHCH, CH, CONHNHCH, CH, CONHNHCH, CH-CHME, CONHNHCH, CH-CHCI, CONHNHCH, CECH, CONHNH

CH (Me) C≡CH, CONHNHCH, C≡CMe, CONHNHPh, C ONHNHCH, Ph、CONHNHCH (Me) Ph、CONH-1-ピロリ ジノ、CONH-1-ピペリジノ、CON (Me) NHMe、CON (Me) N Me, CON (Me) N (Me) Et, CON (Me) N (Me) Pr, CO N (Me) N (Me) i - Pr, CON (Me) N (Me) Bu, CON (Me) N (Me) i - Bu, CON (Me) N (Me) s - Bu, CON (Me) N (Me) t-Bu, CON (Me) N (Me) Pen, CON (Me) N (Me) Hex. CON (Me) N (Me) CH, CH, C1. CON (Me) N (Me) CH, CH, Br, CON (Me) N (Me) CH, CH, F, CON (Me) N (Me) CH₂CCl₃, CON (Me) N (Me) CH₂CF₃, CON (Me) N (Me) (CH₂),C1, CON (Me) N (Me) (CH₂),Br, CON (Me) N (Me) (CH₂)₃F, CON (Me) N (Me) c-Pr, CON (Me) N (Me) c-Pen, CON (Me) N (Me) c-Hex, CON (Me) N (Me) CH₁c-Pr, CON (Me) N (Me) CH₂CH=CH 2. CON (Me) N (Me) CH2CH=CHMe, CON (Me) N (Me) CH, CH = CHC1, CON (Me) N (Me) CH, C = CH, CON (Me) N (Me) CH (Me) C≡CH, CON (Me) N (Me) CH, C≡CM e, CON (Me) N (Me) Ph, CON (Me) N (Me) CH, Ph, C ON (Me) N (Me) CH (Me) Ph, CONHOH, CONHOME, C ONHOEt, CONHOPr, CONHOi-Pr, CONHOBu, CON HOi-Bu, CONHOs-Bu, CONHOCH, CH=CH, CONHO CH, CH=CHMe, CONHOCH, CH=CHC1, CONHOCH, C= CH, CONHOCH (Me) C≡CH, CONHOCH, CF, CONHO (CH₂), F, CONHO (CH₂), F, CONHOCH, CH=CHC1, CO NHOc-Pr, CONHOCH, c-Pr, CONHOc-Pen, CON (Me) OH, CON (Me) OMe, CON (Me) OEt, CON (Me) O Pr. CON (Me) Oi - Pr. CON (Me) OBu, CON (Me) Oi -Bu, CON (Me) Os-Bu, CON (Me) OCH, CH=CH₂, CO N (Me) OCH, CH=CHMe, CON (Me) OCH, CH=CHC1, C ON (Me) OCH₂C \equiv CH, CON (Me) OCH (Me) C \equiv CH, CO N (Me) OCH, CF, CON (Me) O (CH,), F, CON (Me) O (CH₂)₃F, CON (Me) OCH₂CH=CHCI, CON (Me) Oc-P r, CON (Me) OCH2c-Pr, CON (Me) Oc-Pen

第3表中、「Me」とあるのはメチル基を、「Et」と あるのはエチル基を、「Pr」とあるのはプロピル基 を、「Bu」とあるのはブチル基を、「Pen」とある のはペンチル基を、「Hex」とあるのはヘキシル基 を、「Ph」とあるのはフェニル基をそれぞれ表わす。 また、「c-」とあるのはシクロを、「i-」とあるの 40 はイソを、「t-」はとあるのはターシャリーを、それ ぞれ表わす。

37

【0107】本発明化合物のあるものは畑地、非耕地用 除草剤として、土壌処理、茎葉処理のいずれの処理方法 に於いても、イヌホウズキ (Solanum nigrum)、チョウ センアサガオ (Datura stramonium)等に代表されるナス 科 (Solanaceae) 雑草、イチビ (Abutilon theophrast i)、アメリカキンゴジカ (Sida spinosa) 等に代表さ れるアオイ科 (Malvaceae)雑草、マルバアサガオ (Ipom

ガオ類(Calystegia spps.)等に代表されるヒルガオ科 (Convolvulaceae) 雑草、イヌビユ (Amaranthus livid us)、アオビユ(Amaranthus retroflexus)等に代表さ れるヒユ科 (Amaranthaceae)雑草、オナモミ (Xanthium pensylvanicum)、ブタクサ (Ambrosia artemisiaefol ia)、ヒマワリ(Helianthus annuus)、ハキダメギク (Galinsoga ciliata)、セイヨウトゲアザミ (Cirsium arvense)、ノボロギク (Senecio vulgaris)、ヒメジョ ン (Erigeron annus) 等に代表されるキク科 (Composit ae) 雑草、イヌガラシ(Rorippa indica)、ノハラガラ シ (Sinapis arvensis)、ナズナ (Capsella Bursapast oris) 等に代表されるアブラナ科 (Cruciferae) 雑草、 イヌタテ (Polygonum Blumei)、ソバカズラ (Polygonu m convolvulus)等に代表されるタデ科 (Polygonaceae) 雑草、スベリヒユ (Portulaca oleracea) 等に代表され oea purpurea)等のアサガオ類(Ipomoea spps.)やヒル 50 るスベリヒユ科(Portulacaceae)雑草、シロザ(Chenop

10

40

る。

odium album)、コアカザ (Chenopodium ficifolium)、 ホウキギ (Kochia scoparia)等に代表されるアカザ科 (Chenopodiaceae) 雑草、ハコベ (Stellaria media)等 に代表されるナデシコ科 (Caryophyllaceae)雑草、オオ イヌノフグリ (Veronica persica) 等に代表されるゴマ ノハグサ科(Scrophulariaceae)雑草、ツユクサ(Comm elina communis)等に代表されるツユクサ科(Commelin aceae)雑草、ホトケノザ (Lamium amplexicaule)、ヒメ オドリコソウ (Lamium purpureum) 等に代表されるシソ 科(Labiatae)雑草、コニシキソウ(Euphorbia supin a)、オオニシキソウ (Euphorbia maculata) 等に代表 されるトウダイグサ科 (Euphorbiaceae)雑草、ヤエムグ ラ (Galium spurium)、アカネ (Rubia akane)等に代表 されるアカネ科 (Rubiaceae)雑草、スミレ (Viola mand shurica)等に代表されるスミレ科 (Violaceae)雑草、ア メリカツノクサネム (Sesbania exaltata)、エビスグサ (Cassiaobtusifolia) 等に代表されるマメ科 (Legumin osae)維草等の広葉雑草 (Broad-leaved weeds) 、野生 ソルガム (Sorgham bicolor)、オオクサキビ (Panicum dichotomiflorum)、ジョンソングラス (Sorghum halepe 20 nse)、イヌビエ (Echinochloa crus-galli var. crus-g alli)、ヒメイヌビエ (Echinochloa crus-galli var. praticola)、栽培ビエ (Echinochloa utilis)、メヒシ バ(Digitaria adscendens)、カラスムギ(Avenafatu a)、オヒシバ(Eleusine indica)、エノコログサ(Set aria viridis)、スズメノテッポウ (Alopecurus aegual is)等に代表されるイネ科雑草(Graminaceous weed s)、ハマスゲ (Cyperus rotundus, Cyperus esculentu s) 等に代表されるカヤツリグサ科雑草(Cyperaceous w eeds)等の各種畑地雑草 (Cropland weeds) に低薬量で 高い殺草力を有する。

【0108】又、水田用除草剤として湛水下の土壌処理 及び茎葉処理のいずれの処理方法に於いても、ヘラオモ ダカ (Alisma canaliculatum)、オモダカ (Sagittaria trifolia)、ウリカワ (Sagittaria pygmaea) 等に代表 されるオモダカ科 (Alismataceae) 雑草、タマガヤツリ (Cyperus difformis)、ミズガヤツリ (Cyperus seroti nus)、ホタルイ (Scirpus juncoides)、クログワイ (El eocharis kuroguwai)等に代表されるカヤツリグサ科 (Cyperaceae) 雑草、アゼナ (Lindernia pyxidaria) 等に代表されるゴマノハグサ科 (Scrothulariaceae) 雑 草、コナギ (Monochoria vaginalis) 等に代表されるミ ズアオイ科 (Potenderiaceae) 雑草、ヒルムシロ (Pota mogeton distinctus) 等に代表されるヒルムシロ科 (Po tamogetonaceae) 雑草、キカシグサ (Rotala indica)等 に代表されるミソハギ科 (Lythraceae) 雑草、タイヌビ エ (Echinochloa oryzicola)、ヒメタイヌビエ (Echino chloa crus-galli var. formosensis)、イヌピエ (Echi nochloa crus-galli var. crus-galli) 雑草等、各種、 水田雑草 (Paddy weeds) に低薬量で高い殺草力を有す

【0109】さらに本発明化合物のあるものは、重要作 物であるイネ、コムギ、オオムギ、ソルゴー、落花生、 トウモロコシ、大豆、棉、ビート等に対して高い安全性 を有する。

【0110】本発明化合物を除草剤として施用するにあ たっては、一般には適当な担体、例えばクレー、タル ク、ベントナイト、尿素、硫酸アンモニウム、クルミ 粉、珪藻土、ホワイトカーボン等の固体担体あるいは 水、アルコール類(イソプロパノール、ブタノール、エ チレングリコール、ベンジルアルコール、フルフリルア ルコール等)、芳香族炭化水素類(トルエン、キシレ ン、メチルナフタレン等)、エーテル類(アニソール 等)、植物油(大豆油、綿実油等)、ケトン類(シクロ ヘキサノン、イソホロン等)、エステル類(酢酸ブチル 等)、酸アミド類(N-メチルピロリドン等)又はハロ ゲン化炭化水素類 (クロロベンゼン等) などの液体担体 と混用して適用することができ、所望により界面活性 剤、乳化剤、分散剤、浸透剤、展着剤、増粘剤、凍結防 止剤、固結防止剤、安定剤などを添加し、液剤、乳剤、 水和剤、ドライフロアブル剤、フロアブル剤、粉剤、粉 剤等任意の剤型にて実用に供することができる。

【0111】また、本発明化合物は必要に応じて製剤又 は散布時に他種の除草剤、各種殺虫剤、殺ダニ剤、殺線 虫剤、殺菌剤、植物生長調節剤、共力剤、肥料、土壌改 良剤などと混合施用してもよい。

【0112】特に他の農薬と混合施用することにより、 施用薬量の減少による低コスト化、混合薬剤の相乗作用 によるスペクトラムの拡大や、より高い除草効果が期待 できる。との際、同時に複数の公知農薬との組み合わせ も可能である。本発明化合物と混合使用する農薬の種類 としては、例えば、ファーム・ケミカルズ・ハンドブッ ク (Farm Chemicals Handbook) 2000年版に記載され ている化合物などがある。

【0113】本発明化合物の施用薬量は適用場面、施用 時期、施用方法、気象条件、製剤形態、土壌条件、栽培 作物等により差異はあるが一般には有効成分量としてへ クタール(ha)当たり0.0001~10kg程度、 好ましくは0.001~5kg程度が適当である。

【0114】次に具体的に本発明化合物を用いる場合の 製剤の配合例を示す。但し本発明の配合例は、これらの みに限定されるものではない。なお、以下の配合例にお いて「部」は重量部を意味する。

【0115】本発明化合物を使用するにあたっては、通 常適当な固体担体又は液体担体と混合し、更に所望によ り界面活性剤、浸透剤、展着剤、増粘剤、凍結防止剤、 結合剤、固結防止剤、崩壊剤、消泡剤、防腐剤および分 解防止剤等を添加して、液剤、乳剤、水和剤、水溶剤、 顆粒水和剤、顆粒水溶剤、懸濁剤、乳濁剤、サスポエマ 50 ルジョン、マイクロエマルジョン、粉剤、粒剤およびゲ

11

ル剤等任意の剤型の製剤にて実用に供することができる。また、省力化および安全性向上の観点から、上記任意の剤型の製剤を水溶性包装体に封入して供することもできる。なお必要に応じて、製剤又は散布時に複数の他の除草剤、殺虫剤、殺菌剤、植物生長調整剤、肥料等と混合使用することも可能である。

【0116】固体担体としては、例えば石英、カオリナイト、パイロフィライト、セリサイト、タルク、ベントナイト、酸性白土、アタバルジャイト、ゼオライトおよび珪藻土等の天然鉱物質類、炭酸カルシウム、硫酸アン 10 モニウム、硫酸ナトリウムおよび塩化カリウム等の無機塩類、合成珪酸ならびに合成珪酸塩が挙げられる。

【0117】液体担体としては、例えばエチレングリコール、プロピレングリコールおよびイソプロパノール等のアルコール類、キシレン、アルキルベンゼンおよびアルキルナフタレン等の芳香族炭化水素類、ブチルセロソルブ等のエーテル類、シクロヘキサノン等のケトン類、アーブチロラクトン等のエステル類、N-メチルピロリドンおよびN-オクチルピロリドン等の酸アミド類、大豆油、ナタネ油、綿実油およびヒマシ油等の植物油なら20びに水が挙げられる。

【0118】 これら固体および液体担体は、単独で用いても2種以上を併用してもよい。

【0119】界面活性剤としては、例えばポリオキシエ チレンアルキルエーテル、ポリオキシエチレンアルキル アリールエーテル、ポリオキシエチレンスチリルフェニ ルエーテル、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレン ブロックコポリマー、ポリオキシエチレン脂肪酸エステ ル、ソルビタン脂肪酸エステルおよびポリオキシエチレ ンソルビタン脂肪酸エステル等のノニオン性界面活性 剤、アルキル硫酸塩、アルキルベンゼンスルホン酸塩、 リグニンスルホン酸塩、アルキルスルホコハク酸塩、ナ フタレンスルホン酸塩、アルキルナフタレンスルホン酸 塩、ナフタレンスルホン酸のホルマリン縮合物の塩、ア ルキルナフタレンスルホン酸のホルマリン縮合物の塩、 ポリオキシエチレンアルキルアリールエーテル硫酸およ び燐酸塩、ポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテ ル硫酸および燐酸塩、ポリカルボン酸塩およびポリスチ レンスルホン酸塩等のアニオン性界面活性剤、アルキル アミン塩およびアルキル4級アンモニウム塩等のカチオ 40 ン性界面活性剤ならびにアミノ酸型およびベタイン型等 の両性界面活性剤が挙げられる。

【0120】でれら界面活性剤の含有量は、特に限定されるものではないが、本発明の製剤100重量部に対し、通常0.05~20重量部の範囲が望ましい。また、これら界面活性剤は、単独で用いても2種以上を併用してもよい。

【0121】次に本発明化合物を用いる場合の製剤の配合例を示す。但し本発明の配合例は、これらのみに限定されるものではない。なお、以下の配合例において

「部」は重量部を意味する。

〔水和剤〕

本発明化合物0.1~80部固体担体5~98.9部界面活性剤1~10部その他0~5部

その他として、例えば固結防止剤、分解防止剤等があげれらる。

[乳 剤]

本発明化合物0.1~30部液体担体45~95部界面活性剤4.9~15部その他0~10部

その他として、例えば展着剤、分解防止剤等が挙げられる。

〔懸濁剤〕

本発明化合物0.1~70部液体担体15~98.89部界面活性剤1~12部その他0.01~30部

その他として、例えば凍結防止剤、増粘剤等が挙げられ

る。

〔顆粒水和剤〕

本発明化合物 0.1~90部 0.2~98.9部 0~98.9部 1~20部 その他 0~10部

その他として、例えば結合剤、分解防止剤等が挙げられ

゚る。

30 〔液 剤〕

本発明化合物 $0.01\sim7$ 0 部 液体担体 $20\sim99.99$ 部 その他 $0\sim1$ 0 0

その他として、例えば凍結防止剤、展着剤等が挙げられる。

〔粒 剤〕

本発明化合物 0.01~8 0 部 固体担体 1 0~99.99部 その他 0~1 0 部

その他として、例えば結合剤、分解防止剤等が挙げられ る。

(粉 剤)

本発明化合物0.01~30部固体担体65~99.99部その他0~5部

その他として、例えばドリフト防止剤、分解防止剤等が 挙げられる。

【0122】使用に際しては上記製剤を水で1~100 00倍に希釈して又は希釈せずに、有効成分が1へクタ 50 ール(ha)当たり0.001~50kg、好ましくは0.

43 01~10 kgになるように散布する。 【0123】製剤例 次に具体的に本発明化合物を有効成分とする農薬製剤例 を示すがこれらのみに限定されるものではない。なお、 以下の配合例において「部」は重量部を意味する。 【0124】〔配合例1〕水和剤 本発明化合物No. 1-1 20部 パイロフィライト 74部 ソルポール5039 4部 (非イオン性界面活性剤とアニオン性界面活性剤との混 10 1~10kgになるように散布する。 合物: 東邦化学工業(株) 商品名) カープレックス#80D 2部 (合成含水珪酸: 塩野義製薬(株) 商品名) 以上を均一に混合粉砕して水和剤とする。 【0125】〔配合例2〕乳 剤 本発明化合物No.1-1 5部 キシレン 75部 N-メチルピロリドン 15部 ソルポール2680 5部 (非イオン性界面活性剤とアニオン性界面活性剤との混 20 合物:東邦化学工業(株)商品名) 以上を均一に混合して乳剤とする。 【0126】〔配合例3〕懸濁剤(フロアブル剤) 本発明化合物No.1-1 25部 アグリゾールS-710 10部 (非イオン性界面活性剤:花王(株)商品名) ルノックス10000 0.5部 (アニオン性界面活性剤: 東邦化学工業(株)商品名) キサンタンガム 0.2部 水 64.3部 以上を均一に混合した後、湿式粉砕して懸濁剤とする。 【0127】 (配合例4) 顆粒水和剤 (ドライフロアブ ル剤) 本発明化合物No. 1-1 75部 ハイテノールNE-15 5部 (アニオン性界面活性剤:第一工業製薬(株)商品名) バニレックスN 10部 (アニオン性界面活性剤:日本製紙(株)商品名) カープレックス#80D (合成含水珪酸: 塩野義製薬(株) 商品名) 以上を均一に混合粉砕した後、少量の水を加えて攪拌混 合し、押出式造粒機で造粒し、乾燥して顆粒水和剤とす る。 【0128】 (配合例5) 粒 剤 本発明化合物No.1-1 5部 ベントナイト 50部 タルク 45部

以上を均一に混合粉砕した後、少量の水を加えて攪拌混

合し、押出式造粒機で造粒し、乾燥して粒剤とする。

【0129】(配合例6)粉 剤

本発明化合物No. 1-1 3部 カープレックス#80D 0.5部 (合成含水珪酸: 塩野義製薬 (株) 商品名) カオリナイト 95部 リン酸ジイソプロピル 1.5部 以上を均一に混合粉砕して粉剤とする。 【0130】使用に際しては上記水和剤、乳剤、フロア ブル剤、粒状水和剤は水で50~1000倍に希釈し て、有効成分が1ヘクタール(ha)当たり0.000 【0131】次に、本発明化合物の除草剤としての有用 性を以下の試験例において具体的に説明する。 【0132】〔試験例1〕湛水条件における雑草発生前 処理による除草効果試験 33.3cm゚のスチロールカップ中に沖積土壌を入れ た後、水を入れて混和し水深4cmの湛水条件とした。ノ ビエ、ホタルイ、コナギのそれぞれの種子を上記のボッ トに混播した後、2.5葉期のイネ苗を移植した。ポッ トを25~30℃の温室内に置いて植物を育成し、播種 後1日目に水面へ所定の薬量になるように、配合例1に 準じて調整した本発明化合物の水和剤を水で希釈して処 理した。処理後3週間目に、イネおよび各種雑草に対す る除草効果の調査を行った。0は影響なし、5は完全枯 死を示す5段階評価である。結果を第4表に示す。 【0133】判定基準 5…殺草率90%以上(ほとんど完全枯死) 4…殺草率70%以上90%未満 3…殺草率40%以上70%未満 2…殺草率20%以上40%未満 1…殺草率5%以上20%未満 30 0…殺草率5%未満(ほとんど効果なし) 〔試験例2〕 湛水条件における雑草生育期処理による除 草効果試験 33.3 c m'のスチロールカップ中に沖積土壌を入れ た後、水を入れて混和し水深4cmの湛水条件とした。ノ ビエの種子を上記のボットに混播した。ボットを25~ 30℃の温室内に置いて植物を育成し、ノビエ、ホタル イ、コナギが1~2葉期に達したとき、水面へ所定の薬 量になるように、配合例1に準じて調整した本発明化合 40 物の水和剤を水で希釈して処理した。処理後3週間目 に、各種雑草に対する除草効果を試験例1の判定基準に 従って調査を行った。結果を第5表に示す。 【0134】〔試験例3〕土壌処理による除草効果試験 縦21cm、横13cm、深さ7cmのプラスチック製箱に殺 菌した洪積土壌を入れ、メヒシバ、エノコログサ、カラ スムギ、ブラックグラス、イチビ、ブタクサ、アオゲイ トウ、シロザ、イヌタデ、オオイヌノフグリ、ハコベ、 トウモロコシ、ダイズ、ワタ、コムギ、ビートの種子を

それぞれスポット状に播種し、約1.5cm覆土した後、

50 有効成分量が所定の割合となるように土壌表面へ小型ス

* て適宜調整された水和剤を水で希釈して用い、これを全面に散布した。薬液散布3週間後に植物に対する除草効果を試験例1の判定基準に従って調査を行った。結果を第7表に示す。

プレーで均一に散布した。散布の際の薬液は、前記配合例1に準じて適宜調整された水和剤を水で希釈して用い、これを全面に散布した。薬液散布3週間後に植物に対する除草効果を試験例1の判定基準に従って調査を行った。結果を第6表に示す。

【0135】〔試験例4〕茎葉処理による除草効果試験 縦21cm、横13cm、深さ7cmのプラスチック製箱に殺 菌した洪積土壌を入れ、メヒシバ、エノコログサ、カラスムギ、ブラックグラス、イチビ、ブタクサ、アオゲイトウ、シロザ、イヌタデ、オオイヌノフグリ、ハコベ、トウモロコシ、ダイズ、ワタ、コムギ、ビートの種子をそれぞれスポット状に播種し、約1.5cm覆土した後、25~30°Cの温室において植物を14日間育成し、有効成分 量が所定の割合となるように茎葉部へ小型スプレーで均一に散布した。散布の際の薬液は、前記配合例1に準じ*

【0136】なお、各表中の記号は次の意味を示す。 A(ノビエ)、B(ホタルイ)、C(コナギ)、D(メ ヒシバ)、E(エノコログサ)、F(カラスムギ)、G (ブラックグラス)、H(イチビ)、I(ブタクサ)、 J(アオゲイトウ)、K(シロザ)、L(イヌタデ)、 10 M(オオイヌノフグリ)、N(ハコベ)、a(移植イ ネ)、b(トウモロコシ)、c(ダイズ)、d(ワ タ)、e(コムギ)、f(ビート)[第4表] 【0137】 【表4】

化合物 N o .	菜量 g∕a	Α	В	С	а	
1 - 2	2. 52	4	2	5	0	
1 - 3	2.52	4	3	5	1	
1 - 4	2.52	5	4	5	1	
1 - 5	2.52	5	5	5	1	
1 - 6	2.52	5	4	5	1	
1 - 7	2.52	4	4	5	1	
1 - 8	2.52	3	2	4	1	
1 - 9	2.52	5	5	5	2	
1 - 1 0	2.52	4	3	5	1	
1 - 1 1	2.52	3	_	3	1	
1 - 1 2	2.52	2	5	5	1	
1 - 1 3	2. 52	2	1	1	0	
$1^{1}-14$	2.52	5	5	5	5	
1 - 1 5	2.52	5	5	5	3	
1 - 1 6	2.52	5	4	5	1	
1 - 1 7	2.52	4	2	3	1	
1 - 1 8	2.52	5	5	5	4	
1 - 1 9	2.52	4	4	5	1	
1 - 2 5	2.52	4	2	5	0	
1 - 2 6	2.52	1	1	1	1	
1 - 2 7	2.52	5	4	4	2	
1 - 2 8	2.52	3	1	3	0	
1 - 2 9	2.52	4	2	5	1	
1 - 3 0	2.52	5	5	5	3	
1 - 3 1	2.52	5	5	5	4	
1 - 3 2	2.52	2	0	0	0	
1 - 3 3	2.52	5	5	5	4	
1 - 3 4	2. 52	5	5	5	2	
1 - 3 5	2. 52	5	3	5	2	
1 - 3 6	2.52	5	5	5	4	
1 – 3 7	2.52	5	3	5	1 '	

		(25)			特開2001-302666
47					48
1 - 3 8	2.52	5	2	5	1
1 - 3 9	2.52	5	4	5	3
1 - 4 0	2.52	2	0	0	0
1 - 4 1	2.52	5	4	5	1
1 - 4 2	2.52	3	2	5	0
1 - 4 3	2.52	5	3	5	1
1 - 4 4	2.52	3	3	5	1
1 - 4 5	2.52	5	4	5	1
1 – 4 6	2.52	5	4	5	2
1 - 47	2.52	3	2	3	0
1 - 4 8	2.52	4	3	5	1
1 - 4 9	2.52	5	4	5	1
1 - 50	2.52	5	4	5	3
1 - 5 1	2.52	5	4	5	3
1 - 5 2	2.52	5	4	5	1
1 - 5 3	2.52	5	3	5	2
2 - 1	2.52	4	4	5	0
2 - 2	2.52	4	4	5	1
2 - 3	2.52	5	5	5	0
2 - 4	2.52	5	5	5	2
2 - 5	2.52	5	5	5	2
2 - 6	2.52	5	5	5	2

(第5表) 【0138】

*【表5】

*

		·			
化合物	薬量				
No.	g/a 	Α	В	С	
1 - 4	2.52	5	3	3	
1 - 5	2.52	4	2	3	
I – 6	2.52	4	3	3	
1 - 7	2.52	4	2	2	
1 - 9	2.52	4	2	3	
1 - 10	2.52	0	2	2	
1 - 1 2	2.52	2	0	2	
1 – 1 4	2.52	5	3	4	
1 – 1 5	2. 52	5	2	3	
1 – 1 6	2. 52	3	1	3	
1 – 1 8	2.52	4	3	3	
1 – 1 9	2.52	4	2	3	
1 - 2 7	2.52	4	1	3	
1 - 3 0	2.52	5	4	5	
1 - 3 1	2.52	5	4	5	
1 - 3 3	2.52	5	3	4	
1 - 3 4	2.52	5	3	4	
1 - 3 5	2.52	2	1	1	
1 - 3 6	2.52	5	4	5	
1 - 3 7	2.52	3	2	2	
1 – 3 8	2.52	2	1	2	•

	C	26)			特開2001-302666
49					50
1 - 3 9	2.52	1	1	2	
1 - 4 1	2.52	5	3	3	
1 - 4 5	2.52	1	2	3	
1 - 4 6	2.52	2	1	2	
1 - 4 9	2.52	3	2	2	
1 - 5 0	2.52	4	2	3	
1 - 5 1	2.52	2	1	1	
1 - 5 2	2.52	3	2	1	
1 - 5 3	2. 52	2	1	2	
2 - 1	2.52	4	2	2	
2 - 2	2.52	4	2	2	
2 - 3	2.52	4	2	2	
2 - 4	2.52	4	2	3	
2 - 5	2.52	5	3	3	
2 - 6	2.52	5	3	3	

〔第6表〕 【0139】

*【表6】

*

化合物	薬量																
Νo.	q/a	D	Ε	F	G	Н	I	J	K	L	М	N	b	c	d	e	f
													_	_		_	
1- 1	6.3	5	5	0	0	4	4	5	5	3	5	5	2	1	1	0	5
1- 2	6.3	5	5	0	ö	5	5	5	5	5	5	5	3	0	1	1	5
1- 3	6.3	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	1	2	4	5
1- 4	6.3	5	5	-	5	5	5	5	5	5	5	5	3	0	1	1	5
1- 5	6.3	5	5	0	2	2	5	2	5	1	-	2	1	0	0	0	0
1- 6	6.3	5	5	2	3	5	4	5	5	5	5	4	4	1	0	0	5
1- 7	6.3	5	5	0	2	5	4	5	5	5	5	4	1	1	0	0	5
1- 8	6.3	5	4	0	1	1	3	4	4	5	5	1	0	0	0	0	5
1- 9	6.3	5	5	1	3	5	4	5	5	5	5	5	0	0	2	1	5
1–10	6.3	5	4	0	2	5	1	5	5	5	5	5	1	0	0	0	5
1-11	6.3	2	1	0	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0
1-12	6.3	4	4	0	1	1	3	4	5	2	4	4	0	0	0	0	4
1-13	6.3	2	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0
1-14	6.3	5	5	1	3	5	5	5	5	5	5	5	1	0	1	0	5
1-15	6.3	5	5	1	2	5	5	5	5	5	5	5	1	0	1	0	5
1-16	6.3	_ 5	5	0	0	5	4	5	5	5	5	5	0	0	1	0	5
1–17	6.3	3	3	0	0	3	1	3	5	2	4	0	0	0	0	0	4
1–18	6.3	5	5	0	4	5	5	5	5	5	5	5	0	0	1	_	5
1–19	6.3	5	5	0	0	2	5	4	_	5	5	0	0	1	0	0	5
1-24	6.3	0	0	0	0	0	0	0	_	0	0	5	0	0	0	0	5
1-25	6.3	4	5	1	3	5	5	5	5	5	5	3	3	1	1	1	5
1-26	6.3	2	3	0	0	0	0	1	5	0	5	0	0	0	0	0	1
1-27	6.3	5	5	1	1	5	5	5	5	5	5	5	1	0	0	2	4
1-28	6.3	3	3	0	0	0	0	2	4	1	4	1	0	0	0	0	3
1–29	6.3	5	5	0	0	5	1	5	5	5	5	5	1	0	0	0	3
1-30	6.3	5	5	4	3	5	5	5	5	5	5	5	2	0	2	4	5
1-31	6.3	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	5	2	1	1	3	5
1-33	6.3	5	5	2	5	5	5	5	5	5	5	5	1	2	3	3	5

```
特開2001-302666
                        (27)
   51
                                                  52
1-34
       6.3
             5 5 5 4 5 4 5 5 5 5 5 4 3 2 3 5
1-35
       6.3
             5 5 2 3
                         4 5
                                 5
                                           2 2 3
                       5
                                      5 3
1-36
       6.3
1-37
       6.3
                       5
                         5 5
                               5
                                 5
                                   5
                                      5 1
                                           1 -
                            5
1-38
       6.3
             5 5 2 1
                       5 5
                              5
                                 5
                                   5 2 1 1 -
1-39
      6.3
                       5 5
                                 5 5
                                        1
1-40
      6.3
                    0
                                   4
                                     2
                                       2
                                           0 - 0
1-41
      6.3
                                   5
                                     5
      6.3
1-42
                                   5
1-43
      6.3
                         5
                       3
                                   3
                                        0
1-44
      6.3
                       2 3
                                4
                                   3
                                      5
1-45
      6.3
                           3
                                   5
1-46
      6.3
                 4 2 5 5 5 -
                                   5
                                     5 3
1-47
      6.3
                 0 1 1 2 3 -
                                2 5
                                     2 2
                                          0
                                             0
1-48
      6.3
             5 5 3 2 5 3
                                   5
                                     5
                                       4
                                          0 0 3
1-49
      6.3
                            5
                                     5
                                        2
      6.3
1-50
                         5
      6.3
1-51
                  1 2
                         5
                           5
                              5
                                5
1-52
      6.3
               5
                    3
                      5 5
                           5
                             5
                                5
1-53
      6.3
                  0 3 5 4
                           5
                                     5
2- 1
      6.3
                 1 1 2
                           4
                              5
                                             0
2- 2
      6.3
2- 3
      6.3
                  1 2
                         1
                           4
                                1
                                   5
                                     3
                                        0
                                          0
                                             0
2- 4
      6.3
                  0 0
                       5
                         4
                           5
                             5
                                5
                                   5
                                     5 1 0 0 0 5
2- 5
      6.3
             5 5 2 4 5 5 5 5 5 5 5 0 0 1 2 5
2- 6
      6.3
             5 5 3 4 5 5 5 5 5 5 5 2 0 1 3 5
```

〔第7表〕 【0140】 *【表7】

*

_																			
	化合物 N o .	菜量 q/a	D	Ε	F	G	н	I	j	K	L	М	N	b	c	d	e	f	
	1- 1	6.3	3	2	0	0	1	2	2	5	5	1	_	1	1	1	0	1	
	1- 2	6.3	5	4	0	0	1	4	2	5	4	1	5	1	1	1	0	1	
	1- 3	6.3	5	4	2	5	5	5	4	5	5	5	5	4	2	2	3	5	
	1- 4	6.3	5	5	0	5	3	5	3	5	5	5	5	3	1	1	1	5	
	1- 5	6.3	5	5	0	0	5	4	5	5	5	5	4	1	2	2	0	5	
	1- 6	6.3	5	5	4	3	5	5	4	5	5	_	5	1	4	4	4	5	
	1- 7	6.3	5	5	5	3	5	4	5	5	5	-	4	3	2	4	3	5	
	1-8	6.3	3	4	2	3	2	2	1	3	2	_	2	1	1	1	1	3	
	1- 9	6.3	5	5	5	4	5	5	5	5	5	-	5	2	2	4	4	5	
	1-10	6.3	5	5	5	4	5	4	5	5	5	-	5	2	2	3	3	5	
	1-11	6.3	1	1	0	0	2	1	2	2	2	0	0	1	1	1	0	0	
	1-12	6.3	3	3	0	0	3	2	5	5	5	3	3	1	1	1	0	2	
	1-13	6.3	2	2	0	0	0	1	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	
	1-14	6.3	5	5	2	2	4	4	4	5	4	5	5	3	2	2	4	5	
	1-15	6.3	5	4	4	3	4	3	4	5	5	4	5	1	2	1	2	5	
	1-16	6.3	5	5	3	2	5	3	5	5	5	5	4	4	2	2	1	5	
	1–17	6.3	1	1	0	0	1	1	2	3	1	0	0	2	1	0	0	0	

フロントページの続き

(72)発明者 秋山 茂明

千葉県船橋市坪井町722番地1日産化学工 業株式会社中央研究所内

(72)発明者 渡辺 重臣

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470日産化 学工業株式会社生物科学研究所内 (72)発明者 中平 国光

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470日産化 学工業株式会社生物科学研究所内

(72)発明者 大木 亨

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470日産化 学工業株式会社生物科学研究所内 (72)発明者 濱田 暢之

埼玉県南埼玉郡白岡町大字白岡1470日産化 学工業株式会社生物科学研究所内 Fターム(参考) 4C050 AA01 BB04 BB05 BB06 CC08

EE02 EE03 EE04 EE05 FF02

FF03 GG02 GG03 HH02 HH04

4H011 AB01 AB02 BA01 BB09 BC17

BC18 BC19 BC20 DA14 DA15

DA16 DD01 DD04 DH03 DH14

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

□ BLACK BORDERS
□ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
□ FADED TEXT OR DRAWING
□ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
□ SKEWED/SLANTED IMAGES
□ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
□ GRAY SCALE DOCUMENTS
□ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
□ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.